

特別試写会
 & トークショー

ル・コルビュジエ生誕 130 周年記念作品 / アイルランド・日本外交関係樹立 60 周年記念行事作品

ル・コルビュジエとアイリーン

追憶のヴィラ

2017 年 9 月 29 日 (金)

18:00-20:30 (開場 17:30)

国立西洋美術館 講堂 (企画展示館地下 2 階)

定員 50 名 当日 17:00 から 館内で整理券を配付いたします。

 ※無料でご覧いただけますが、整理券が必要となります。なお、定員に達した際にはご入場いただけません。
 ※やむを得ない事情により、内容を変更または中止する場合がございますので予めご了承ください。

- ・ 17:30 開場
- ・ 18:00 上映スタート (108 分)
日本語字幕
- ・ 19:50 ~ 20:30 トークショー



ル・コルビュジエと、彼が唯一その才能を羨んだと言われる、女性建築家アイリーン・グレイ。ふたりの間に隠された波乱万丈のストーリーを美しき映像美でつづる『ル・コルビュジエとアイリーン 追憶のヴィラ』。フランスで活動を続けたアイリーン・グレイですが、生まれ育ったのはアイルランドでした。2017 年はアイルランドと日本の外交関係樹立 60 周年記念の年でもあることから、アイルランド大使館のご後援もいただき、ル・コルビュジエの作品として世界遺産に登録された国立西洋美術館にて特別試写会とトークショーを開催します。

トークショーには、世界的なアイリーン・グレイの研究者である、アイルランド国立博物館キュレーターのジェニファー・ゴフ氏と、本作の日本語字幕の監修も務められた五十嵐太郎氏をお招きし、ル・コルビュジエとアイリーン・グレイの関係やその作品の魅力などについてお話しいただきます。

今年生誕 130 年を迎えるル・コルビュジエの建築思想が随所に息づく建物と合わせて、映画とトークショーをお楽しみください。

ストーリー

モダニズム華やかなりし 1920 年代、のちの近代建築の巨匠ル・コルビュジエは、気鋭の家具デザイナーとして活躍していたアイリーン・グレイに出会う。彼女は恋人である建築評論家のジャン・バドヴィッチとコンビを組み、建築デビュー作である海辺のヴィラ<E.1027>を手掛けていた。陽光煌めく南フランスのカップ＝マルタンに完成したその家はル・コルビュジエが提唱してきた「近代建築の 5 つの要点」を具現化し、モダニズムの記念碑といえる完成度の高い傑作として生みだされた。当初はアイリーンに惹かれ絶賛していたル・コルビュジエだが、称賛の想いは徐々に嫉妬へと変化していく。

そして 1938 年、事件は起こる。ル・コルビュジエは、アイリーンの不在時に何の断わりもなく、邸内に卑猥なフレスコ画を描いてしまう。これを知った彼女はル・コルビュジエの行為を「野蛮な行為」として糾弾し、彼らの亀裂は決定的なものになった。その後、大戦とともに、<E.1027>は人々から忘れられ、打ち捨てられてしまう。戦後、すっかり荒れ果てた物件は、競売にかけられる。海運王アリストテレス・オナシスも参加したこの物件を買い戻すために奔走したのは、他でもない——ル・コルビュジエだった。



© 2014 EG Film Productions / Saga Film © Julian Lennon 2014. All rights reserved.

【監督・脚本】メアリー・マクガキアン

【音楽】ブライアン・バーン 【撮影】ステファン・フォン・ビョルン

【美術】エマ・プッチ

【出演】オーラ・ブラディ・ヴァンサン・ペレーズ/ドミニク・ピノン/アラニス・モリセット

2015 年 / ベルギー・アイルランド / フランス語・英語 / 108 分 / カラー / シネスコ / 5.1ch /

原題: THE PRICE OF DESIRE 日本語字幕: 星加久美 / 字幕監修: 五十嵐太郎

配給: トランスフォーマー 提供: トランスフォーマー+シネマライズ

後援: アイルランド大使館、ベルギー大使館、スイス大使館

協力: 国立西洋美術館、hhstyle

<http://www.transformer.co.jp/m/lecorbusier.eileen/>
[Facebook: www.facebook.com/lceg.e1027/](https://www.facebook.com/lceg.e1027/)
[Twitter: @lceg_e1027](https://twitter.com/lceg_e1027)

10/14 (土) Bunkamura ル・シネマほか、全国順次公開

ジェニファー・ゴフ × 五十嵐 太郎



劇中：アイリーン・グレイ（オーラ・ブラディ）



劇中：ル・コルビュジエ（ヴァンサン・ベレス）

© 2014 EG Film Productions / Saga Film
© Julian Lennon 2014. All rights reserved.

映画終了後には、このイベントのために来日したアイリーン・グレイの世界的な研究者であるジェニファー・ゴフ氏、そしてル・コルビュジエ関連書籍の監修や企画のキュレーションも手掛ける建築史・建築批評家の五十嵐太郎氏をお招きし、映画の内容も踏まえ、偉大な足跡を残した二人の芸術家の関係性や建築史における意義などについて、語っていただきます。アイルランド、日本を代表する研究者のお二人をお迎えしたこのまたとない機会に、ぜひご来場ください。(約 40 分逐次通訳)



ジェニファー・ゴフ Jeniffer Goff

ユニバーシティ・カレッジ・ダブリンで文化政策、芸術学の博士号を取得。アイルランド国内で大学講師やギャラリーのキュレーターを務め、2007 年よりアイルランド国立博物館のキュレーターとして活動。世界有数のアイリーン・グレイ研究の専門家であり、同館ではアイリーン・グレイのコレクションを担当している。2014 年に出版された研究書「Eileen Grey Her Work and Her World」がアイルランドの権威ある文学賞アイリッシュ・ブック・アワードにノミネートされ、アイリーン以外にも、様々な芸術家の研究論文を発表している。



五十嵐 太郎 [東北大学教授/建築史・建築批評家]

1967 年、パリ生まれ。1990 年、東京大学工学部建築学科卒業。1992 年、東京大学大学院修士課程修了。博士(工学)。現在、東北大学大学院教授。あいちトリエンナーレ 2013 芸術監督、第 11 回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展日本館コミッショナーを務める。第 64 回芸術選奨文部科学大臣新人賞。『被災地を歩きながら考えたこと』(みずす書房)、『窓へ 社会と文化を映しだすもの』(日刊建設通信新聞社)、『窓と建築の格言学』(フィルムアート社)ほか著書多数。

「CAFÉ すいれん」がリニューアルオープン!

当館のレストラン「CAFÉ すいれん」が、内装やイス・テーブル等を改装し、より心地よく過ごしていただける空間になりました。メニューの充実を行い、世界遺産に登録された本館の設計者であるル・コルビュジエやレストランの名称にもなっている、所蔵作品モネの「睡蓮」にちなんだメニューも新たにご用意しました。なお、金・土曜日は、観覧後にゆっくりお食事をしていただけるよう展覧会終了 1 時間後まで営業を行っております。新しくなった「CAFÉ すいれん」にぜひお越しください。



国立西洋美術館 The National Museum of Western Art

国立西洋美術館ではフランス近代の絵画・彫刻を中心とした「松方コレクション」を基礎とし、16 世紀から 20 世紀半ばまでの西洋の美術作品の展示を行っています。昨年 7 月、「ル・コルビュジエの建築作品 - 近代建築運動への顕著な貢献 -」の構成資産のひとつとして世界文化遺産に登録されました。

JR 上野駅下車 (公園口出口) 徒歩 1 分
京成電鉄京成上野駅下車 徒歩 7 分
東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車 徒歩 8 分
※ 美術館には駐車場はございません。

お問い合わせ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

国立西洋美術館ホームページ <http://www.nmwa.go.jp/>



9 月末までの金曜・土曜及びプレミアムフライデーは 21:00 まで(入館は 20:30 まで) 開館しています。

※ 上記以外の金曜・土曜は 20:00 まで開館(入館は 19:30 まで)